

第26回 鹿児島保健医療圏地域医療構想調整会議 開催結果

日 時：令和7年11月17日（月）
午後6時30分から午後7時20分まで
場 所：鹿児島地域振興局本庁舎5階大会議室
出席者：委員25人出席、事務局6人

1 会次第

- (1) 開会
- (2) 協議事項
 - ア 鹿児島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床の機能分化・連携支援事業）の活用希望について
 - イ 鹿児島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）の活用希望について
 - ウ 令和6年度病床機能報告と定量的基準との照合結果について
 - エ 非稼働病棟を有する医療機関への対応について
 - オ 地域医療構想に基づく取組実績等の報告（案）について
 - カ 病床の医療機能の変更や減床を予定している医療機関の取扱いについて
- (3) その他
- (4) 閉会

2 協議事項

(1) 鹿児島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床の機能分化・連携支援事業）の活用希望について【資料1】

- ア 鹿児島大学病院及びいまいれ総合病院の事業計画について、事務局から資料1に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議（質問・意見なし）

<協議結果>

鹿児島大学病院及びいまいれ総合病院の補助金活用希望は、高度急性期機能の維持に必要な整備であることから、妥当である。

(2) 鹿児島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（病床機能再編支援事業）の活用希望について【資料2】

- ア 川原泌尿器科及び平川外科内科医院の単独病床機能再編計画について、事務局から資料2に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議（質問・意見なし）

<協議結果>

- ・川原泌尿器科の補助金活用希望は、鹿児島保健医療圏において過剰な急性期病床の減少に繋がることから、妥当である。
- ・平川外科内科医院の補助金活用希望は、鹿児島保健医療圏において過剰な慢性期病床の減少に繋がることから、妥当である。

(3) 令和6年度病床機能報告と定量的基準との照合結果について【資料3】

- ア 事務局から資料3に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議（質問・意見なし）

<協議結果>

定量的基準と異なる報告をした医療機関のうち、協議が必要な3医療機関（鹿児島市医師会病院、健翔会病院、岩尾病院）について、医療機関の報告内容を妥当とする。

(4) 非稼働病棟を有する医療機関への対応について【資料4】

- ア 事務局から資料4に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議（質問・意見なし）

<協議結果>

非稼働病床の動向を把握することは、地域医療構想を進めていく上で重要であるため、来年度も継続して事務局で調査を行う。場合によっては、当該医療機関に説明を求めながら、専門部会や調整会議の場で、再稼働する場合の必要性等も含めて協議していく。

(5) 地域医療構想に基づく取組実績等の報告（案）について【資料5】

- ア 事務局から資料5に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議 <主な意見>

資料5 - 2ページに「鹿児島保健医療圏の急性期医療は、鹿児島市外から利用する患者と鹿児島市内の患者の両方を診ているが、鹿児島市外からの流入は特に減少が著しい。」とあり、そうだとは思うが、根拠となるデータを元に表現された方が良いかと思う。

→ 資料5 - 2ページの意見は、部会長等会議等において、委員から出された意見を集約したものであり、取組実績等の報告については、今後いただいた修正等意見を踏まえ検討する。

<協議結果>

報告（案）の意見等については、委員からの意見を踏まえ、事務局において修正等再検討の上、次回の専門部会・調整会議において、最終案を諮る。

(6) 病床の医療機能の変更や減床を予定している医療機関の取扱いについて【資料6】

- ア 事務局から資料6に基づき説明
- イ 各専門部会から協議結果報告
- ウ 協議（質問・意見なし）

<協議結果>

「「回復期」を減少する場合（閉院等の場合を除く）」を協議事項に追加するとして、承認する。